

2012・新年号
第26号



Yokohama Seaside

横浜金沢産業連絡協議会
機関誌編集委員会

〒236-0004

横浜市金沢区福浦1-5-2

印刷：三恵印刷興業(株)

Yokohama Seaside

PIAだより



目次

- | | |
|---|--|
| 新春のご挨拶2 | 8. 幸浦一丁目自衛消防隊が訓練会を開催！9 |
| 団地短信 | 9. 金沢産業振興協が株式会社と自動車リース販売代理店契約を締結！10 |
| 1. PIAアカデミー <small>シーサイドフォーラム</small> 海辺帆船落語勉強会が開催されました！4 | 10.LED& 見える化セミナー報告10 |
| 2. 液化化現象についてのセミナーが開催されました4 | 告知板 |
| 3. 2011PIA フェスタが開催されました！5 | 1.(財)横浜企業経営支援財団からのお知らせ！11 |
| 4. 産連協主催第22回テニス大会結果報告(平成23年度)7 | 2. 関東学院大学 総合研究推進機構 サテライトオフィスからのお知らせ！11 |
| 5. 金沢臨海部産業地区自衛消防組織震災対策検討会開催される！8 | 3. 新入社員総合研修会開催のお知らせ！！11 |
| 6. 平成23年度「横浜知財みらい企業」に8社が認定受ける8 | 4. 横浜市からのお知らせ12 |
| 7. 昨年9月9日(金) 昼頃、幸浦・福浦で部分的に発生した停電について9 | 5. 新会員の紹介12 |



新春のご挨拶



横浜金沢産業連絡協議会
会長 沼田 昭司



あけましておめでとうございます。

会員の皆さまには健やかに佳い正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また日ごろ、産業連絡協議会の業務運営に温かいご支援とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて昨年は、3/11 東北太平洋岸の巨大地震と津波が福島原発事故をも併発し、私たちの日常はそれまでの社会生活環境を根底から覆し変貌させる、大きなダメージを余儀なくされることとなりました。

当地が横浜市沿岸部の埋め立て地域であったにもかかわらず、被害は液状化など一部に局限され、また夏場の節電対策も企業各位の積極的なご協力により、致命的な問題もなく乗り切ることができました。今回の天災事変に私たちは日本国民のひとりとして、被災地の方々と同じ痛みを共有する感覚とともに、周囲の人々に対する思いやりや気配りの気持ちが、いつになく大きく心の内に生まれてきたことを感じています。

2011PIA フェスタでは、義援金の寄付を募り東北物産店の出店を企画するなど、地道で継続的な支援活動を実施しました。今後の復興活動を地域として遅滞なく支援していきたいと考えています。

横浜グリーンバレー (YGV) 構想は、低炭素化への地球環境保全に向けて、太陽光や風力発電等自然エネルギーの活用態勢も含め、金沢臨海産業団地がいよいよ具体的な事業成果を生み出していく段階になってきました。

平成 22～24 年度に電気自動車 (EV) のカーシェアリング試行事業が、EV 普及を目的として化学協同組合で進行中です。

また、平成 22 年度エネルギー見える化事業の成果を受けて、近年各事業所において老朽化してきた受電盤や空調設備の更新、そして照明設備の LED 更新など操業環境活性化を実現できる態勢が目の前にあり、かねて懸案であった市や国への補助金申請を急ぎたいと思います。

産連協では、地域の防災対策を主体とした危機管理への取り組みとして、昨年は液状化問題など専門家によるセミナーにより、現状問題点の把握につとめてきました。本年は、これらの現状認識をもとに企業各位のご意見を集約して、体系的に操業環境および生活環境の活性化を図って参りたいと思います。

本年も会員の皆さんが無事健康で大いにご活躍されんことを祈念し、年頭のごあいさつと致します。

イベントはハイ・ローズ!!

会議、行事、スポーツの後の打ち上げにハイ・ローズで楽しい宴会を。
ランチタイムは常に、四季のグルメフェア開催中!! 仕出し・出張宴会承ります。

カフェテリアレストラン **ハイ・ローズ**

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 1-5-2

☎ **045-784-3883**

営業時間

月～土 11:00～14:00





横浜市経済局
局長 渡辺 巧教



新年明けましておめでとうございます。

日頃から横浜市政に対し御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災が発生し、また、海外でもタイの洪水や欧州の金融危機など日本経済に影響を及ぼす事象が多々起こりました。

そのような中、様々な工夫を凝らして事業を継続してきた中小企業の皆様には、大変なご苦勞をされた一年であったと想像いたします。

そんな皆様のご苦勞に対し、少しでもお役に立てるよう、中小企業振興条例を基本とし、経営基盤の強化を考えてまいります。

また、皆様との対話や意見交換を踏まえ、金融支援など皆様の土台を支える基礎的支援もしっかりと行っていきます。

今年も国内経済の厳しさが続き、中小企業を取り巻く環境が回復するにはまだ少し時間がかかるものと思われませんが、この一年が皆様にとって、活動的な一年となり、大きく羽ばたける未来につながる年になることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



横浜市金沢区
区長 橋本 康正



新年明けましておめでとうございます。

横浜金沢産業連絡協議会の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、皆様方には、日頃から区政に対し多大な御支援・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は3月11日に発生した東日本大震災により、日本中が様々な困難に直面する特別な一年になりました。

金沢区につきましても、安全・安心への思いやりあふれるまちづくりを目指し、津波に対する避難方法をはじめとする防災・災害対策の強化に全力を挙げて取り組んでいるところです。災害時の金沢区における要となる区総合庁舎の建替えも決まりました。

本年は、日本にとって復興の年となるよう願うとともに、金沢区にとって更なる飛躍の年となるよう、取り組んでまいりますので、皆様方の御協力をお願いいたします。

最後に、年頭にあたり、貴協議会のますますの御発展と皆様の御健勝を心からお祈り申し上げまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

(((団地短信)))

1. PIA アカデミー シーサイドフォーラム 海辺帆羅夢落語勉強会が開催されました！

昨年の9月14日（水）に横浜市金沢産業振興センター ホールに於きまして、横浜シーサイドフォーラム、（社）横浜南法人会臨海総支部、当協議会の主催、（財）横浜企業経営支援財団、横浜信用金庫、横浜銀行の後援によるPIAアカデミー シーサイドフォーラム 海辺帆羅夢落語勉強会が開催されました。今回も多くのご来場頂き、ホールも超満員となりました。出演は、前座 入船亭辰じん、真打ち 春風亭柳朝、紙切り 林家二楽、真打ち 柳家喬太郎のみなさんでした。（出演順）

今回も柳家喬太郎師匠と春風亭柳朝師匠の落語を中心に林家二楽師匠の紙切りなどがあり多彩な落語勉強会でした。今回もご来場頂いた皆様には楽しんで頂けたと思います。

この落語勉強会は、木戸銭も千五百円とほかの落語会と比べましても安価で、気軽に楽しめるイベントです。毎回、多くのお客様にお運び頂いており、人気イベントとしても定着しております。今年も落語勉強会を開催する予定です。開催が決定致しましたら、改めてご案内させていただきます。これまで落語をご覧になった事がない方は是非、生の落語をご覧になってはいかがでしょうか？皆様のご来場をお待ち致しております。



2. 液状化現象についてのセミナーが開催されました

昨年、9月6日（火）、20日（火）、27日（火）の3回にわたり、横浜市工業技術支援センター6F研修室において、「液状化現象」についてのセミナーが開催されました。

このセミナーは産学官連携推進事業として、関東学院大学と横浜市工業技術支援センターにより市内企業を対象に開催され、タイトルは「液状化現象から、あなたの会社・工場をどう守りますか！？」ということで、①液状化はなぜ起こるのか？②どこで起こるのか？③どんな被害が生じるのか？④液状化を防ぐにはどうすればよいのか？等について講演頂きました。セミナーの講師は、関東学院大学工学部社会環境システム学科教授の規矩大義（きく ひろよし）氏で、規矩教授のご専門は、地盤工学、地盤防災工学で、主な研究テーマは、「①地震時の地中構造物の浮き上がり被害に関する研究、②液状化に伴う地盤の流動予測と対策法に関する研究、③地盤の動的特性と地盤一構造物の耐震調査、耐震対策について」とのことです。昨年7月10日放送の「NHKスペシャル シリーズ東日本大震災”世界最大”の液状化」に出演されております。

今回のセミナーで規矩教授が講演された内容のごく一部をご紹介しますと、東日本大震災における液状化発生地点の特徴は、①臨海部の埋立地や港湾施設、②内陸部では水田や沼地を埋め戻した造成地、と大きく分けられ、同じ年代に埋め立てられた埋立地でも道路ひとつ、境界ひとつ介して、液状化が生じた地域と生じなかった地域にわかれることもあるとのこと。また、液状化被害の特徴は戸建て住宅を中心とした構造物の傾斜と沈下であり、大半が杭基礎で支持されている集合住宅や工場の建屋には被害が少なく、何かしらの液状化対策が施してある地盤では、ほとんど液状化は生じておらず、対策部分と無対策部分ではっきりと被害が分かれているとのことでした。

金沢産業団地においても若干ですが今回の地震による被害も発生しております。このセミナーが防災につながるひとつの情報として生かされればと思います。

3. 2011PIA フェスタが開催されました！

さる、10月21日（金）～22日（土）の2日間、金沢産業団地恒例の秋まつり、PIA フェスタが横浜市金沢産業振興センター全施設を会場として開催されました。PIA フェスタも15回目を迎えましたが、今回は雨が降ったりやんだり随分久しぶりに天候に恵まれなかったPIA フェスタとなりました。

今回も昨年同様、横浜シーサイドフォーラムと産連協の主催、(財)横浜企業経営支援財団の共催という体制で開催されました。

ここ数年、PIA フェスタを「金沢産業団地内企業の安全と事業繁栄を祈念する『産業振興祭』」として位置づけて開催してきましたが、今回はそれに加え、世間でも叫ばれている「がんばろう日本、がんばろう東北」という東北の支援と日本を元気づけることをもう一つのメインテーマとして開催いたしました。

今回はこれまでも続けている『産業振興祭』を中心に東北支援のためのイベントほか様々なイベントを企画・開催いたしました。目玉イベントは、東北銘菓の販売と東北地方B級グルメの販売でした。東北銘菓販売と東北地方B級グルメ販売の目的は、東北地方から物を仕入れて販売することで、微々たるものかも知れないが東北地方でがんばっている人たちの後押しができればというものです。東北銘菓販売の店頭では、金沢産業団地企業に勤めており、普段からパントマイムで老人ホームや小学校などを訪問し慰安活動を行っている遠見さんがパントマイムやバルーンアートを実演し、来場者を引きつけていました。遠見さんは、昨年の東日本大震災以降に東北地方の被災地を慰問に訪れており、その際に撮った被災地の子供たちとの写真も東北銘菓販売ブースに飾られており、それをご覧になっているお客さんも多かったようです。

そのほか、交流を深めるイベントとして、氷取沢高校ジャズ部や金沢総合高校ダンス部、吹奏楽部にステージ出演して頂いたり、テニス大会（年齢制限付き）やソフトボール大会などが開催されスポーツイベントも例年になく充実していました。（結果は次ページに掲載）

その他、昨年に続き、PIA フェスタに参加している「横浜金沢東ロータリークラブ」では、ポリオ撲滅募金活動や神奈川県横浜赤十字センターの献血車による献血活動、「横浜金沢マリーナライオンズクラブ」は盲導犬を応援するための募金活動を実施するなどの慈善活動も行われました。

今回のPIA フェスタは、天候には恵まれませんでしたが無事、盛況のうちに終了することができたと思います。これも(財)横浜企業経営支援財団、横浜市等行政機関、横浜シーサイドフォーラムや金沢産業団地企業の皆様、お手伝い頂いた有志の方々、周辺住民の方々、来場してくれた皆様、出店者の皆様、PIA フェスタを裏で支えてくれた皆様、すべての皆様のご支援、ご協力あつての事です。誌面をお借りしてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。また、次回も色々な企画を検討、実施したいと思いますので、何卒、ご支援、ご協力をお願い致します。

お神楽



東北銘菓 販売コーナー



黒岩委員長による抽選



神奈川新聞
寄託
045-222-0816

東日本大震災救済金
(20日・本社扱い)

平成23年11月30日 神奈川新聞

▽PIAフェスタ実行委員会
（黒岩委員長）13万8611円
（金沢区福浦）10月21、22日
開催の金沢産業団地の秋まつり
「PIAフェスタ」での会場募金。



横浜テクノタワーホテルファミール

〒236-0004 横浜市金沢区福浦1-1-1

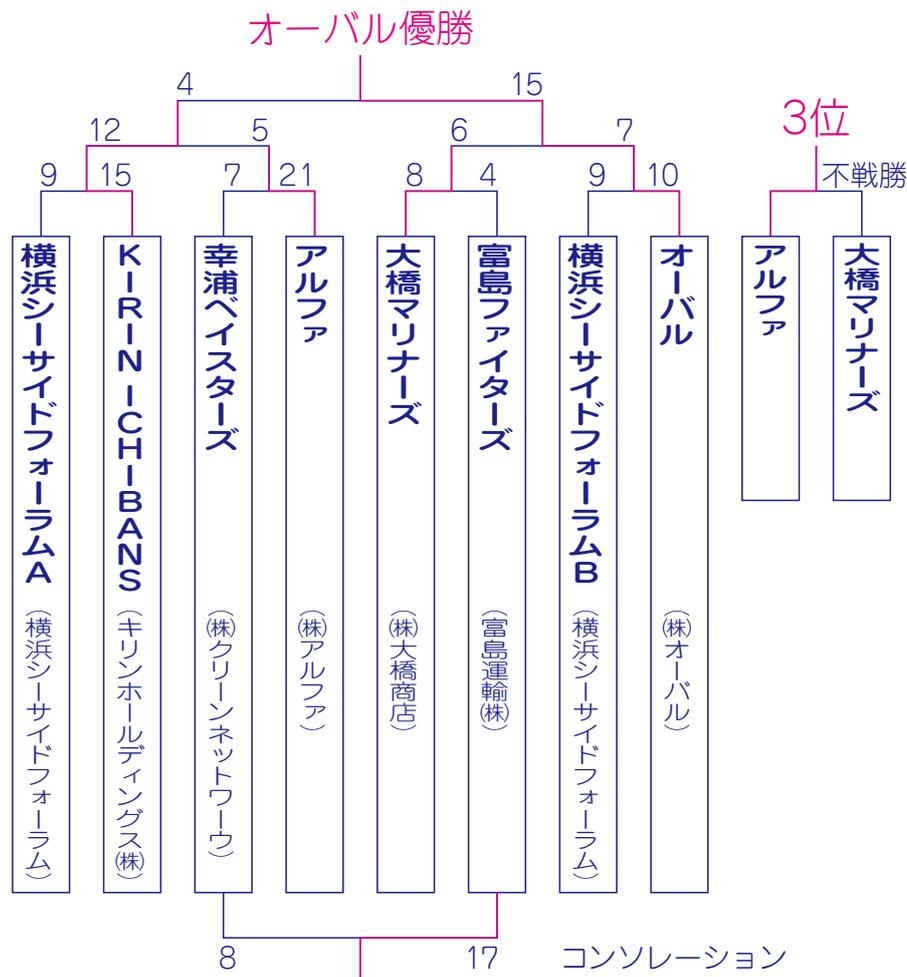
TEL.045-788-8000 FAX.045-788-7411

URL.http://www.hotel-famiel.co.jp

各種ご宴会・
会議室等
のご予約も
承っております。

PIAフェスタ 金沢産業団地内企業ソフトボール大会 トーナメント表

開催日：平成23年10月13日(木)・14日(金)・21日(金)・28日(金)



始球式 (貝道相談役)



優勝チーム (オーバル)



準優勝チーム (KIRIN ICHIBANS)



PIAフェスタ年齢条件付きダブルステニス大会結果

今回、初めてPIAフェスタのイベントとして、年齢条件付きのテニス大会を企画実施しました。年齢条件はペアの合計年齢が80歳以上とし、種目は、男子ダブルス、女子ダブルス、ミックスダブルスの3種目を設定し、各8組を募集しました。

なお、これまで産連協主催で実施してきたテニス大会は、産連協会員企業と金沢テニススクール生に限定して募集していましたが、今回はPIAフェスタとしてのイベントでしたので、地域交流が目的にありますので、一般の方の参加もOKとしました。

今回の参加組数は、男子8組、女子4組、ミックスは応募がありませんでした。

試合当日は、雨が降ったりやんだりの悪条件下、みなさん楽しく一所懸命にプレーされていました。

ご参加頂いた皆様、悪天候下、お疲れさまでした。できれば、このイベントも継続して実施したいと考えております。今回、参加されなかった方も含め、次回開催となった折りは、是非ともご参加下さい。よろしくお願い致します。

なお、ここでは、今回の優勝ペア、準優勝ペアのみご紹介いたします。

男子ダブルス	優勝	清水敬一郎・佐々木正ペア (一般)
	準優勝	関川長治・谷本淳ペア (株オーバル)
女子ダブルス	優勝	小島知子・藤原幸子 (金沢テニススクール)
	準優勝	高橋澄代・本間恵 (富島運輸(株))

4. 産連協主催第22回テニス大会結果報告（平成23年度）

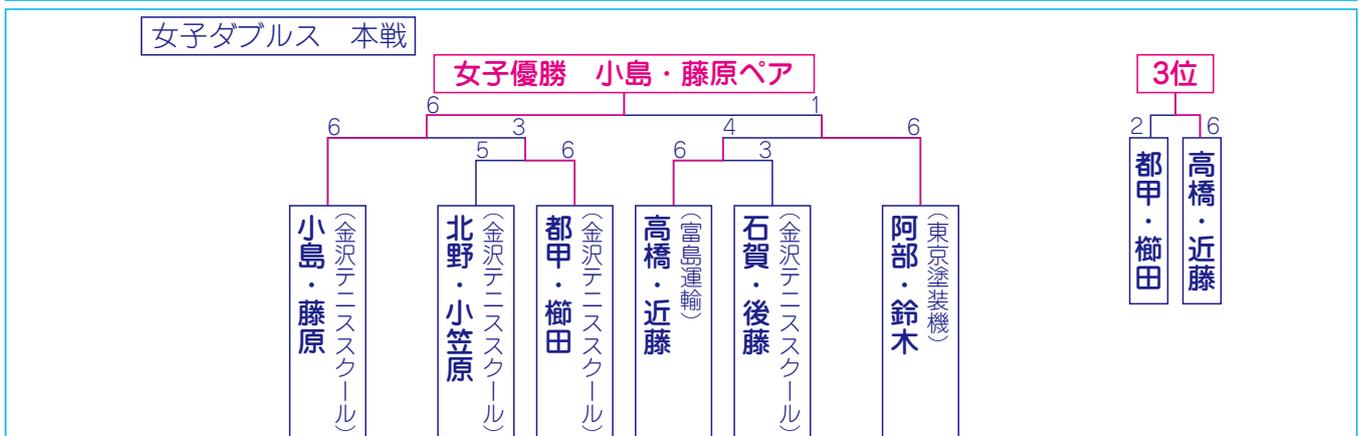
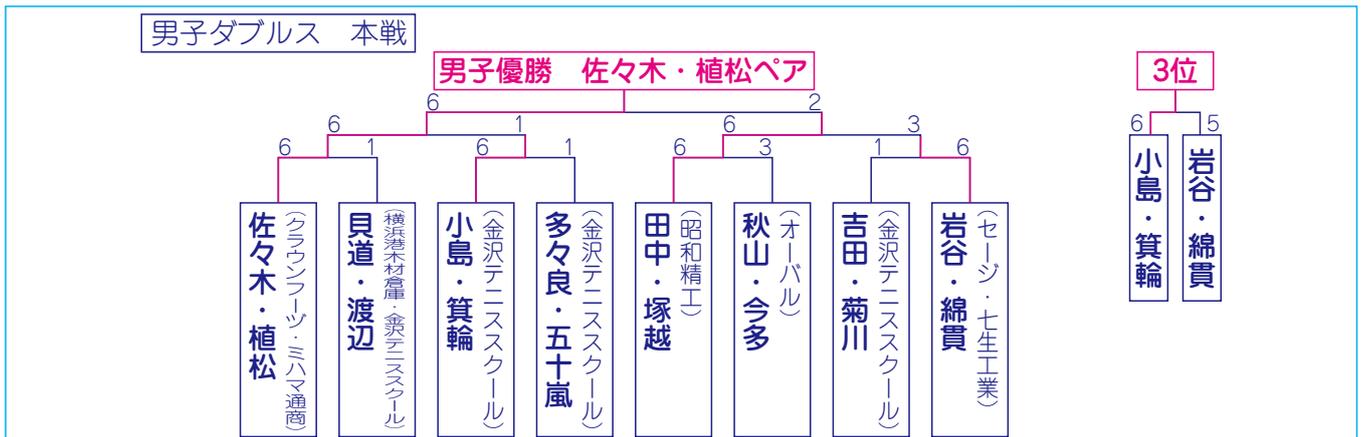
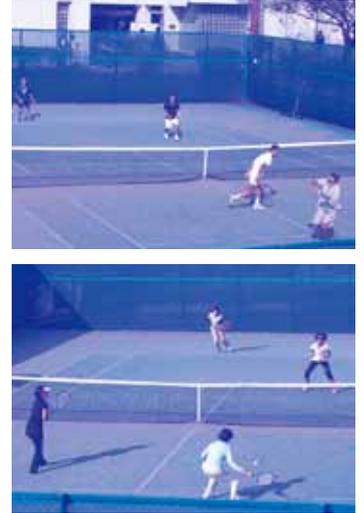
今回のテニス大会は、例年のとおりの11月の開催に戻りましたが、当初開催を予定していた11月6日（日）は雨に降られたため、この日は中止とし、予備日であった13日（日）に延期となりました。延期された13日（日）は11月上旬とは思えない暖かい陽気となり、そこそこのスポーツ日和での開催となりました。男子8チーム、女子6チームと前年同様、参加者が少ない大会となりました。

試合については、男子は比較的点差の開いた試合が多く見受けられ、女子は接戦が多かった印象でした。今大会の結果は、男子は佐々木・植松ペア（クラウンフーズ、ミハマ通商）が優勝し、昨年、一昨年に続き3連覇。女子は小島・藤原ペア（金沢テニススクール）が優勝しました。おめでとうございます。

大会運営につきましては、金沢テニススクールの広瀬コーチにサポートを戴きました。また、大塚製菓よりフルーツ大豆バーの「SOYJOY」（ソイジョイ）を提供して戴き、参加者全員に参加賞としてお渡しいたしました。お礼申し上げます。今回のテニス大会も参加者並びに関係各位のみなさまのご協力により、無事に終ることができました事、感謝申し上げます。

また、次回のテニス大会が開催できるよう、より多くの方々にご参加頂けるよう、主催者として準備を進めて参りたいと思っております。金沢産業団地企業の皆さま、金沢テニススクールのスクール生の皆様の参加をお待ちいたします。

男子優勝 佐々木毅・植松準（クラウンフーズ・ミハマ通商）
 女子優勝 小島知子・藤原幸子（金沢テニススクール）
 男子準優勝 田中謙次・塚越竹志（昭和精工）
 女子準優勝 阿部みどり・鈴木真弓（東京塗装機）



男子優勝

佐々木・植松ペア



『今回は生憎の雨で一週間延期となりましたがおかげで延期した日はコート上の熱気が移ったかのような陽気の中でプレーをすることが出来ました。例年同様今年もどこの試合もスコア以上の内容で気の抜けない試合ばかりでしたが無事優勝することが出来ました。また来年もぜひ皆さんの挑戦を受けながら優勝を目指して頑張りたいと思います。最後に大会運営の皆様お疲れ様でした。また来年も楽しみにしております。』

女子優勝

小島・藤原ペア



「アッーと言う間の1年・・・前大会での課題をクリアすることなく(；ー) 今大会へ。また新たな課題が！初戦メンタルの弱さが露呈(+o+) パートナーに助けられての優勝にダブルスの楽しみを実感いたしました。K T S コーチの皆様のご指導の下 “心技体” powerup してまた来年 (^ ^) / ~ 大会関係者の皆様 2週にわたりお疲れさまでした ありがとうございます。」

5. 金沢臨海部産業地区自衛消防組織震災対策検討会開催される！

昨年3月11日に東日本大震災が発生し、その事から金沢産業団地においても地震や津波、液状化などへの不安が高まっていたところ、6月に金沢臨海部の自衛消防組織や企業等に対し、金沢消防署による地震に関するアンケート調査が行われました。

その結果報告と今後の課題や協力体制の検討をする場として、7月27日(水)10時から横浜市金沢産業振興センター・ホールにおいて「金沢臨海部産業地区自衛消防組織震災対策検討会」が開催されました。

本会議には、金沢消防署はもとより金沢区役所、消防局危機管理室の担当者も出席されておりました。

まずは、金沢産業団地内にある自衛消防組織3団体(幸浦一丁目自衛消防隊、幸浦二丁目自衛消防隊、福浦自衛消防隊)の各隊長の挨拶から始まり、出席者の紹介、本会議の趣旨説明、アンケート結果報告&課題、事業所間における協力体制の検討へと進み、最後に牧島金沢消防署長より講評を頂き終了となりました。

本誌にアンケート結果等について全てを掲載したいところではあります。が、アンケートの項目が多岐にわたることと誌面の都合もあり詳細については割愛いたしますが、主だった内容について掲載いたします。

地震で揺れている時どのような対応を指示しましたか?という質問に対し、多かった回答は、「身の安全の確保」、「屋外避難」という内容でした。また、地震当日、自宅に帰れなかった方が発生しましたか?という質問に対し、回答をした企業の31%の企業で帰宅できなかった方が発生したとの回答がありました。その関連質問で、帰宅困難者となった方はその後どのように行動しましたか?という質問に対し、自宅が20km以上の方々は35%の方が自動車等で帰宅、17%の方が徒歩で帰宅、自宅が20km未満の方々は、32%が徒歩で帰宅、27%が自動車等で帰宅との回答がありました。その他の項目としては、地震の備えに関するものや津波に関するもの、産業団地内の協力体制、液状化対策に関するものについてアンケート結果が報告されました。

また、当日は事業所向けの防災に関する内容もご紹介頂きました。配布された資料の一部ではありますが、横浜市のホームページに掲載されておりますので、そのURLを下記に掲載致します。経営者、工場長、工場の責任者の方々には是非、ご覧頂ければと思います。

「減災行動のススメ」 事業所編 ~できることから今すぐに~ 横浜市消防局予防部予防課
<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/pamphlet/pamph-pdf/gensaikoudounosusume-jigyousyo.pdf>



6. 平成23年度「横浜知財みらい企業」に8社が認定受ける

知的財産制度の利用により競争力強化を図ろうとする企業に対して、横浜市による「横浜知財みらい企業支援事業」の審査が実施されました。

第1回(9月1日認定)を受けたのは市内28の事業社で、産連協会員企業からは次の5社です。

(株)アカサカテック / (株)キュー・アイ / 昭和精工(株) / (株)ディムコ / (株)室伏製作所

第2回(12月1日認定)は33社で産連協会員企業からは次の3社でした。

コロナ工業(株) / (株)パラエルモサ / パレス化学(株)

認定を受けられる資格要件は次のとおりです。

- ①横浜市内に本社があること
- ②特許権、実用新案権、意匠権、営業秘密を保有していること
- ③法人市民税を滞納していないこと

「横浜知財みらい企業」に認定されると、次の支援が得られます。

- ①金融支援
- ②横浜市HPや各種広報媒体を活用した企業PR支援
- ③横浜市知的財産活用促進事業助成金の助成率・助成限度額優遇
- ④国内特許出願の審査請求料の一部を助成
- ⑤外国特許・商標・意匠出願費用の一部を助成
- ⑥フォローアップ(評価書に基づく無料コンサルティング)

これらの支援により、企業がさらなる発展を期して活動できる態勢づくりが、待たれるところです。



7. 昨年9月9日（金）昼頃、幸浦・福浦で部分的に発生した停電について

昨年11月10日（木）、東京電力(株)横浜支社より横浜金沢産業連絡協議会に対し、昨年9月9日（金）昼頃に幸浦・福浦で部分的に発生した停電についてのお詫びと報告がありましたので、産連協会員企業の皆様にご報告致します。

- 1 発生日時 平成23年9月9日（金）11時45分～12時47分（約62分間）
※ 復旧は順次実施したため、地域により停電時間は異なるとのこと。
- 2 産業団地内停電地域 幸浦・福浦の一部地域（金沢区内では、産業団地以外にも停電地域あり）
- 3 停電原因 停電地域に電力を供給している変電所内のケーブルに不具合が生じた為。
※ 施設・設備等の点検はマニュアルに基づき実施しているとのこと。

尚、今冬の需給見通しについても報告があり、今冬については安定供給を確保できる見通しですが、電源の計画外停電や急激な気温変化による需要の増加の可能性もあることから無理のない範囲での節電への協力を願いたいとのことでした。

8. 幸浦一丁目自衛消防隊が訓練会を開催！

昨年9月14日（水）に幸浦一丁目自衛消防隊主催の訓練会が開催されました。今回は、昨年の3月11日に発生した東日本大震災で、その凄まじさを認識させられた津波について理解を深めようということで、津波を起こす実験施設のある「独立行政法人港湾空港技術研究所」を見学いたしました。

「独立行政法人港湾空港技術研究所」は横須賀市長瀬にあり、最寄り駅は京急久里浜駅です。主要業務は、「①港湾の整備、利用及び保全に関すること。②航路の整備及び保全に関すること。③港湾内の公有水面の埋立て、及び干拓に関すること。④港湾内の海岸整備、利用及び保全に関すること。⑤飛行場の整備及び保全に関すること。前記①～⑤に掲げる事項に関する事業の実施に関する研究及び技術の開発並びに技術の指導、成果の普及の他、①～⑤に掲げる事項に関する情報の収集、整理及び提供など。」となっています。

今回、色々な実験施設を見学させて頂きましたが、液状化の研究施設や津波に関する研究施設は大変興味を引きました。特に造波装置については、色々な波を起こす事ができるとのことでしたし、津波の実験施設は、大きく長い水路があり、規模の大きな施設でした。「独立行政法人港湾空港技術研究所」には、研究用の大きな施設がいくつかありましたが、施設を回りながら、そこで実施している研究や実験の内容を聞くと、地震や津波の研究、実験をするにはやはり大規模な施設が必要であるとの認識を深めました。

参加された自衛消防隊員のみなさんも興味深く実験施設・設備の説明を聞いたり、質問をされたりしていました。金沢産業団地の各企業のみなさんも、引き続き防災意識を高く持って活動をお願いします。



割安な保険料



— 集団取扱でお申込 —



すでにご加入の保険
内容を確認してみませんか？

いざ!! の時、使えなかった!!

では、困ります!!

そんな時は
私たちにご相談を!



【募集代理店】株式会社ライフキャピタル

〒220-0073
横浜市西区岡野 1-9-6 第8Z 西村ビル 5F 506号

TEL : 045-316-5551

【引受保険会社】

Aflac アフラック
(アメリカンファミリー生命保険会社)
横浜支社：〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 TSプラザビルディング15F
※当社に関するお問い合わせは下記コールセンターへ
TEL : 0120-555-595 AF050-2011-0066 6月27日

9. 金沢産業振興(株)が(株)イチネンと自動車リース販売代理店契約を締結!

昨年8月に、金沢産業振興(株)(横浜金沢産業連絡協議会の関連法人)が(株)イチネンとリース販売代理店契約を締結いたしました。

金沢産業振興(株)は、現在、横浜市のグリーンバレー構想の一環として企画された「横浜金沢産業団地カーシェアリング事業」を横浜市から受託中ですが、今回、リース販売代理店契約を締結することにより、金沢産業団地企業の所有する自動車が二酸化炭素の排出0あるいは、より排出量が少ない自動車へシフトするための後方支援ができればと考えております。また、今回の件は、金沢産業振興(株)が横浜金沢産業連絡協議会事業の補助的な実施機関として、今後も継続的に事業を実施していくための経営基盤の強化を諮るという側面もあります。

(株)イチネンは、大阪に本社があり、主な事業としては、オートリース、自動車メンテナンス、燃料販売等があります。

金沢産業団地企業のみなさま、社有車等の入れ替え、見直し、追加等をご検討の際は、金沢産業振興(株)へ是非ともお声がけ下さい。また、(株)イチネンは基本的には、どの自動車メーカーの車でもご相談承ります。金沢産業振興(株)へお声がけ頂ければ(株)イチネンへ取り次ぎます。よろしくお願い致します。

◆お問い合わせ先◆

金沢産業振興(株) TEL 045-781-1131 FAX 045-781-1136

横浜市金沢区福浦 1-5-2 横浜市金沢産業振興センター 2 F 横浜金沢産業連絡協議会内

10. LED & 見える化セミナー開催報告

昨年8月26日(金)14時~16時に横浜市金沢産業振興センター大会議室において、横浜金沢産業連絡協議会の主催で「LED & 見える化セミナー」を開催致しました。

昨年発生した東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故以後、東京電力管内での電力不足が懸念され、春には計画停電の実施、夏には7月1日から契約電力500キロワット以上の大口電力需要家(工場、商業施設、オフィスビル)に対して、使用最大電力を前年比(2010年比)15%削減を義務づけた電力使用制限令が発動されました。電力使用制限令に故意に違反すると100万円以下の罰金を科されるとのことでした。

また、この電力使用制限令と平行し、中小企業や一般家庭などに対しても、罰則は伴わないのですが15%の節電が要請されました。

このように、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故以後、節電対策が地域をあげての課題となる中、使用電力の「見える化」システム(電力消費量をグラフで見えるようにするシステム)と各種LED照明の特長、特性を知ってもらい、省エネ対策の一助としてもらうことを目的に本セミナーを企画致しました。

セミナー開催にあたり、まず当協議会の沼田昭司会長から主催者のご挨拶をさせて頂き、その後、本セミナーの本題に入りました。セミナー出席者に対し、出展しているLED取り扱い企業8社、見える化システム取り扱い企業2社、金融関係企業1社により、各企業が取り扱うLED照明(ex.7色に変わるLEDや、太陽光線の入り具合で照度が自動的に変化するLED、オフィス照明、屋外照明、投光器ほか)および「見える化」システムの各々の特長の説明や質疑応答、環境省の補助金の紹介、リース相談などが行われました。

なお、今回の出展企業は次のとおりです。



お誕生日・記念日に、お花・ケーキのプレゼントはいかがですか?

CAFE DELI
メルヘン
ESTABLISHED 1974

御弁当・パーティーも承ります。

TEL 784-7455

営業時間 AM 10:00~PM 6:00

ケーキ工房パティスリーメルヘンは
金沢産業振興センター1Fです。
パースデーケーキ等
ご注文承ります。

喫茶メルヘンとともにご愛顧下さい。

TEL 783-6080

営業時間 AM 10:00~PM 7:00

フラワーショップ
メルヘン

花束・アレンジ お届けします。

TEL 782-5985

1. LED 提案企業 ※ 印は産連協会員企業
 ※ (株)シスコ / ※ (株)大倉物産 / 日発販売(株) / (株)NARRY Japan / インテックス(株) / 日本ピー・アイ(株) /
 (株)ロボストラクト / NEC フィールディング(株)
2. 見える化システム提案企業
 ※ 東洋電機製造(株) / ※ 金沢産業振興(株)
3. リース提案企業
 浜銀ファイナンス(株)

今回のセミナー出席者は約 70 名でした。(出展企業は除く)
 節電、省エネという目先の課題につながるテーマだったせいか、ますますの参加人数であったと思います。
 今後も時機にあったテーマで、産連協会員企業のみなさんが参加したいと思うセミナー等を企画、開催したい
 と考えております。

(((告 知 板)))

1. (財) 横浜企業経営支援財団からのお知らせ！

横浜市金沢産業振興センター 2 階 ワンストップ経営相談窓口
 起業・経営の課題解決をサポートします！ (秘密厳守)

企業の経営に関するご相談、資金繰り、資金調達、新事業展開、CSR など…
 横浜企業経営支援財団の専門相談員がお待ちしております。横浜市南部方面の企業の皆様、ぜひご利用ください。
 専門相談員は、企業訪問や面談等を実施していることがございます。恐れ入りますが、お越しになる際はお
 電話等であらかじめご確認ください。

また、法律・税務・労務・省エネルギー等のより専門性の高いご相談は財団経営支援メニュー「エキスパー
 ト面談」や「技術アドバイザー派遣」をご利用ください。詳細はお問い合わせください。

- (財) 横浜企業経営支援財団 ワンストップ経営相談窓口 (金沢拠点)
- 受付時間 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00
 - 住所 〒 236-0004 横浜市金沢区福浦 1-5-2 産業振興センター 2 階
 - 電話 045-788-9571 (窓口相談専用)

2. 関東学院大学 総合研究推進機構 サテライトオフィスからのお知らせ！



関東学院大学

横浜市工業技術支援センター 1 階にオープン

2011 年 4 月にオープンした関東学院大学総合研究推進機構サテライトオフィスでは、中小企業様の技術相
 談や受託研究などの相談を随時受け付けております。

12 月 1 日より、常駐スタッフを配置しましたので、お気軽に支援センター内のサテライトオフィスにお越し
 下さい。

なお、事前にご連絡いただければ、企業様への訪問も可能です。

相談可能日：火・水・木

連絡方法：サテライトオフィスもしくは総合研究推進機構運営課へご連絡下さい

連絡先：関東学院大学総合研究推進機構サテライトオフィス (支援センター 1 F)

TEL 045-370-7131 FAX 045-370-7132

関東学院大学総合研究推進機構運営課 (金沢八景キャンパス)

TEL 045-786-2924 FAX 045-786-2932

関東学院大学 総合研究推進機構運営課 関東学院大学 材料・表面工学研究センター

3. 新入社員総合研修会開催のお知らせ！！

今年も 4 月 3 日 (火)、4 日 (水)、5 日 (木) に横浜金沢産業連絡協議
 会主催新入社員総合研修会を開催する予定です。

4 月 3 日 (火) 新入社員研修一般コース、4 日 (水) 新規採用者安全衛生
 講習会、5 日 (木) マナー講習コースを予定しております。

上記日程につきましては、平成 24 年 1 月現在の予定です。状況によっ
 ては、日程が変わる可能性もありますので、詳しくは、2 月もしくは 3 月の
 資料配付時にお配りする 新入社員総合研修会の案内にてご確認ください。



4. 横浜市からのお知らせ



平成 24 年 2 月 1 日、経済センサスー活動調査が実施されます！

全国すべての企業・事業所が対象の調査です。

調査票は平成 24 年 1 月末日までにお届けしますので、2 月 1 日以降に提出をお願いします。

支社等のない事業所には調査員が直接伺いますので、御協力をお願いします。

◆お問い合わせ先◆

横浜市政策局総務部 統計情報課

電話：045 (671) 2104～2106

ホームページ「横浜市統計ポータルサイト」

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/>



5. 新会員の紹介

① 日本ペプシコーラ販売株式会社

横浜南支店 支店長 長崎 真一

横浜市金沢区幸浦 1-12-1

電話：045-776-1030 FAX：045-770-5251

URL：http://www.pepsi.sgn.ne.jp

お問い合わせ先：亀ヶ谷 h.kamegaya@pepsi.sgn.ne.jp

会社紹介

当社はサントリーのグループ会社で首都圏を中心にサントリー清涼飲料水の販売および自動販売機の管理等を行っております。

自販機を通じて当社と協働いただける企業様と相互のビジネス拡大に向け、新しい活路を切り開き今後、会員の皆様にお役に立たせて頂ければと思います。

よろしくお願ひ申し上げます。

② 株式会社エム・アイ・シー

代表取締役 内田 茂男

横浜市金沢区福浦 1-8-33

電話：045-353-8931 FAX：045-353-8932

URL：http://www.m-i-c.jp

<http://www.PacificBeam.com>

E-mail：info@m-i-c.jp

会社紹介

医療機器総合商社&環境関連製品販売

環境事業部は、汎用性の高い世界最高レベルの防カビ・抗菌剤原料メーカーとして、医療・介護・化粧品・繊維・皮革・建築材料・ビルメンテ・清掃・家電・製紙など、多種多様な業界に対して、エコ化事業の推進と企業収益の確保を両立させるご提案を行っております。

【取扱製品分野】

- 防カビ・防藻・防ヌメリ
- 除菌・抗菌・防菌
- 消臭・防臭
- 防フジツボ
- 遮熱・汚水処理
- 水素水

上記分野において、改善課題をお持ちでしたら、ぜひ、お気軽にご相談ください。

③ 有限会社マルニ商店

代表取締役 栗原 晴彦

横浜市金沢区福浦 1-15-3

電話：045-311-5648 (本社) FAX：045-312-1304 (本社)

E-mail：maruni@ceres.ocn.ne.jp

会社紹介

弊社は、横浜を本拠に半世紀以上にわたり資源リサイクル事業を行って参りました。

中でも主力品目のガラスびん(カレット)については、横浜市内はじめ、近隣都県市の廃棄物事業者様、酒販店様などにご信頼をいただき、お取引引きささせていただきます。

今後も社是「安全第一、品質第一、負けるが勝ち(常にお客様とともに)」のもと、努力を重ねて参ります。会員の皆様にもご愛顧いただけますようお願い致します。

